

第36回 日本靴医学会学術集会 ハンズオンセミナー

そのギプス整形外科医が巻かなくて誰が巻く？ 糖尿病足病変、ギプスで治せるんです！

神経障害を伴う糖尿病足病変はリウマチ足変形と異なり痛みを感じることができません。常に圧力や剪断力がかかることで創治癒が遷延し、いつしか感染して切断に至る患者も多いのが現実です。そんな負のスパイラルから抜け出すためのGold Standardと言われるのがTCC(Total Contact Cast)。目の前の困ったキズにギプスを巻くことで、歩行させながらでも驚くほどキズが治ります。

今回のセッションでは整形外科医にこそできる創傷治療のコツと注意点を紹介します。

日時 2022年9月2日(金) 14:00～16:00(予定) **学会1日目**

会場 鎌倉芸術館

プログラム概要

ミニレクチャー

- ・創傷治療におけるOff-Loading
- ・多施設研究の結果報告
- ・虚血にも巻くコツ、実際

実演

ハンズオン

- ・ギプス巻き
- ・患者体験(ギプスを巻いた状態で歩行)
- ・ギプスカット
(余った時間で希望者へのおさらい会)

講師陣

座長/演者/
テーブルインストラクター



菊池 守 先生
下北沢病院
院長/形成外科

演者/
テーブルインストラクター



菊池 恭太 先生
下北沢病院
整形外科

演者/
テーブルインストラクター



寺部 雄太 先生
春日部中央総合病院
形成外科

テーブルインストラクター



富村 奈津子 先生
南風病院
整形外科

共催：第36回 日本靴医学会学術集会/アルケア株式会社

本セミナーは事前参加登録制です

登録開始時期については学術集会ホームページ(<http://kutsu36.umin.ne.jp/index.html>)をご確認ください。